

平成 29 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

山梨県

行 事 名 称	文化財防火デーに係る消防訓練
実施期間・日時	平成 30 年 1 月 20 日
実 施 場 所	深向院（宮沢 1 1 7 2）
主 催 者	南アルプス市消防団、南アルプス市消防本部、南アルプス市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

県指定文化財「木像釈迦如来坐像」を所蔵する深向院本堂西側からの出火を想定。

訓練の内容

初期消火訓練。通報訓練。文化財持ち出し訓練。放水訓練。
地域住民向けの消化機器・消火栓の使用方法解説および初期消火訓練。

参加者及び役割分担

深向院役員 （5名）：119 番通報、初期消火、文化財の搬出
 深向院檀家 （10名）：119 番通報、初期消火、文化財の搬出
 地区住民 （20名）：初期消火
 南アルプス市消防団甲西分団 （15名）：放水訓練
 南アルプス市消防本部 （15名）：全体統括、放水訓練
 南アルプス市文化財保護審議会 （1名）：現場立会い
 南アルプス市教育委員会 （3名）：所蔵文化財の価値や取り扱い時の注意点について解説

特に工夫した点

教育委員会から、所蔵される文化財の価値や特性についてパネル等を用いて解説。あわせて、実施地域周辺を含めた他の文化財・文化資源（指定の有無を問わず）についても解説。

問題点・課題

所有者と近在の地域、行政が中心になって行っているが、訓練に関わる地域を今後さらに広げていきたい。

その他

行政的には、教育委員会と消防本部、地域との連携を確認するよい機会となっている。また、地域的には、住民が参集することにより、地域の文化財について知ってもらえるよい機会となっている。

訓練風景

